

第8期 科学技術イノベーション政策大綱について

名称を「神奈川県科学技術政策大綱」から「神奈川県科学技術イノベーション政策大綱」に改める



2025.12.25

いのち・未来戦略本部室

大綱改定のポイント

第7期 大綱の概要

基本目標

- ①安全安心で豊かな地域社会の実現
- ②持続可能な産業の創出・育成
- ③イノベーション人材が輝く競争の場の形成

施策展開に当たり3つ視点を新たに位置づけ

- ①科学技術と社会の対話
- ②科学技術イノベーション・エコシステム構築
- ③県自らのコーディネート



ほぼ踏襲（国の計画や県グランドデザインの表現等で文言を微修正）



R6に構築した社会実装チームの活動をもとに、県民ニーズこそ取組の元であり、かつ社会実装に繋げることが重要と再認識
前大綱の視点から、県の役割に位置づけを変更

第8期 大綱（素案）

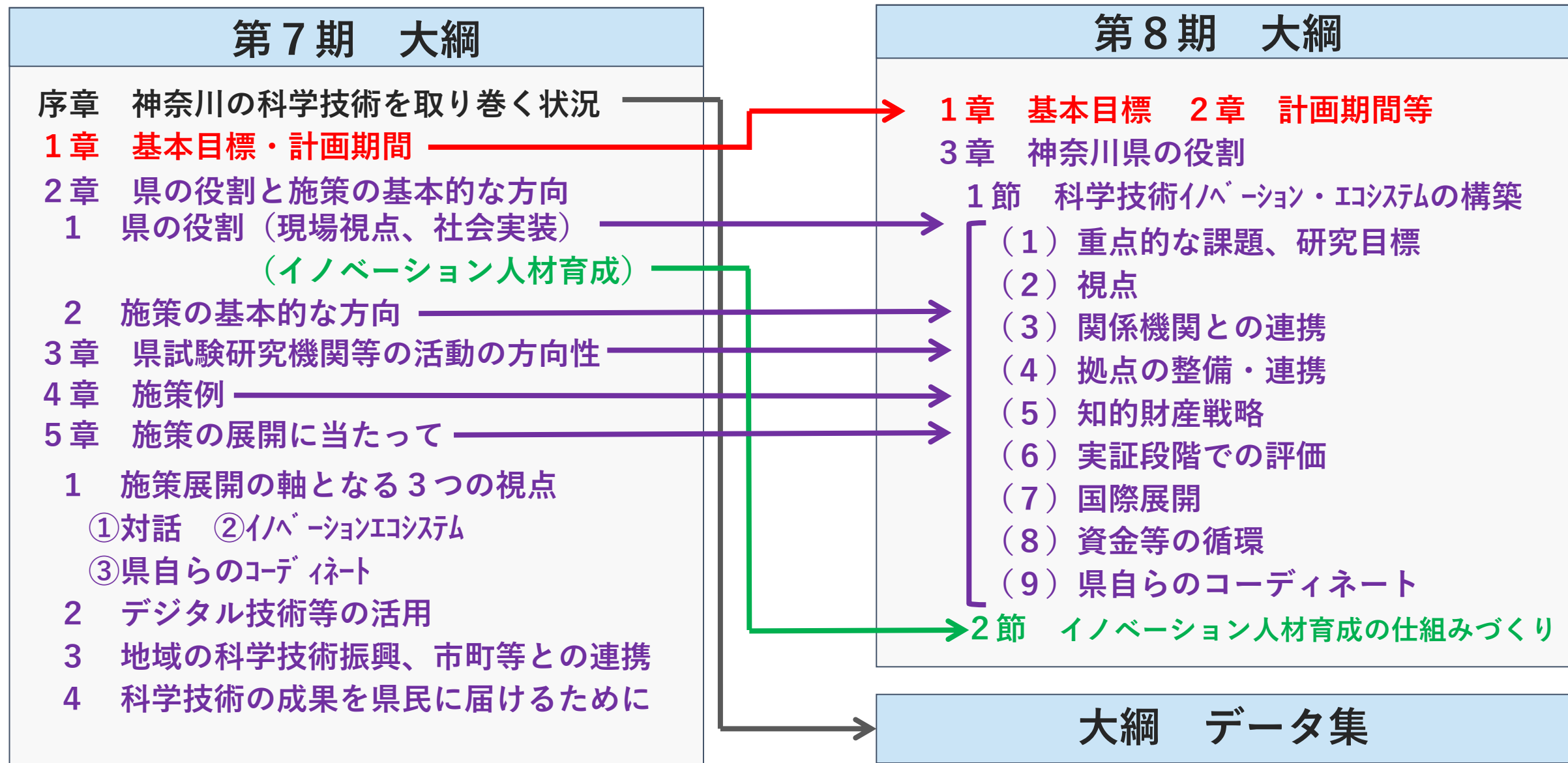
基本目標

- ①安全安心してらせる地域社会の実現
- ②持続的に発展する産業の創出・育成
- ③イノベーション人材の育成

県の役割

- ①科学技術イノベーション・エコシステム構築（すべての取組に社会・地域課題と社会実装を踏まえること）
- ②イノベーション人材育成の仕組みづくり

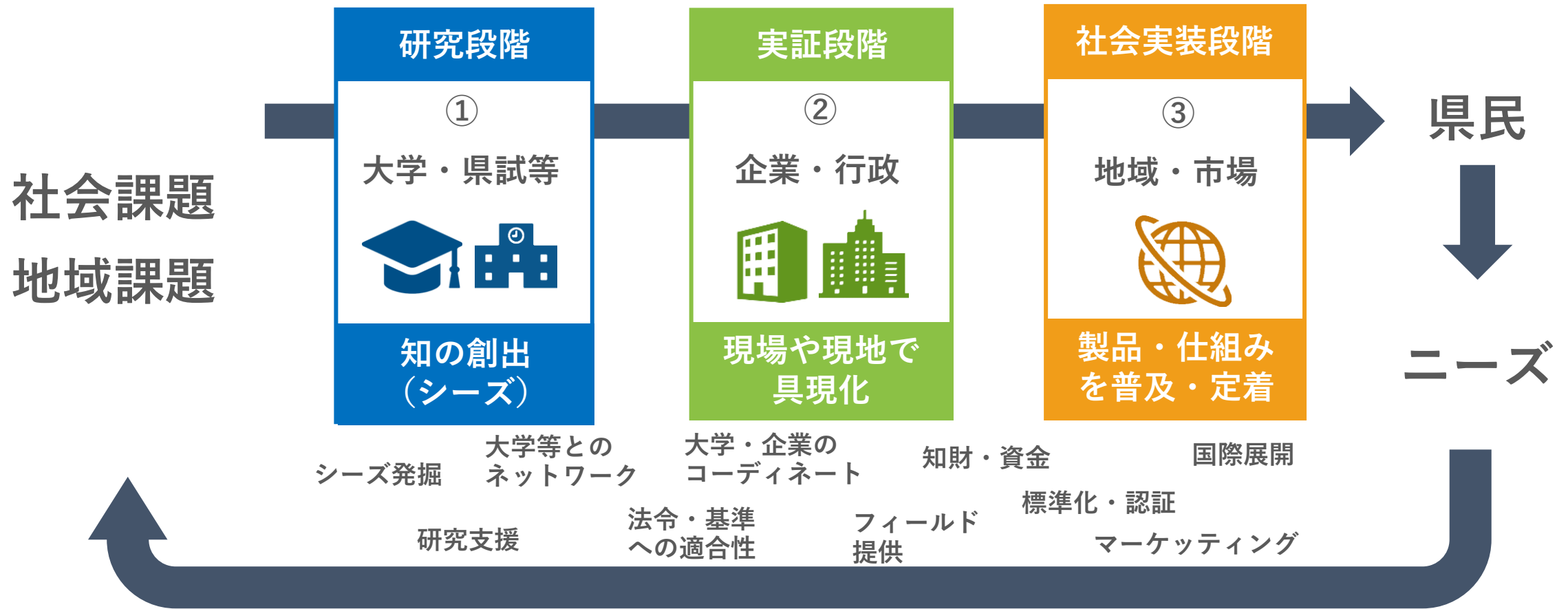
第7期大綱との比較



全体の構成

基本目標	1 誰もが安全で安心してくらせる地域社会の実現 2 持続的に発展する産業の創出・育成 3 イノベーション人材の育成	計画期間	R9～R13 (5年間)
神奈川県 の役割	1 科学技術イノベーション・エコシステムの構築 (1) 重点的な課題、研究目標 (2) 視点 (3) 関係機関との連携 (4) 拠点の整備・連携 (5) 知的財産戦略 (6) 実証段階での評価 (7) 国際展開 (8) 資金等の循環 (9) 県自らのコーディネート 2 イノベーション人材育成の仕組みづくり (1) イノベーション人材とは (2) 変化し挑戦し続けるマインドの醸成 (3) ともいきマインドの醸成		

科学技術イノベーション・エコシステム



基本目標の実現に向け、重点的な社会課題・地域課題をターゲットとして定め、県民目線・現場目線等の共通の視点で、研究・実証・社会実装段階において、関係機関や拠点との連携、知的財産戦略と実証や国際展開、資金等の循環を、県が外部人材等と連携しながらコーディネートし、科学技術イノベーション・エコシステムを構築

1 節 科学技術イノベーション・エコシステムの構築

(1) 重点的な社会課題・地域課題、研究目標

社会課題

国や世界全体に共通する構造的な課題

少子高齢化・人口減少、感染症等のパンデミック、自然災害の激甚化、エネルギー・資源・食料等の経済安全保障、脱炭素・気候変動

地域課題の分野

社会課題を踏まえ、県の実情に具体的に表れている課題(グランドデザイン)

- ①子ども・若者・教育（子育て・子ども・若者支援等）
- ②健康・福祉（ヘルスケア・ニューフロンティア、生活困窮等）
- ③産業・労働（産業競争力強化・持続可能な農林水産業等）
- ④環境・エネルギー（脱炭素、環境保全等）
- ⑤共生・県民生活（共生社会、地域活性化・観光・文化等）
- ⑥危機管理・くらしの安心（防疫・防犯・防災・減災等）
- ⑦県土・まちづくり（都市基盤の整備・老朽化対策等）

研究目標の例

- ◇ 最先端医療・ヘルスケア・未病技術
- ◇ 介護・福祉技術
- ◇ エネルギー・環境保全技術
- ◇ 防疫・防犯・防災・減災技術
- ◇ 資源・食料技術
- ◇ ロボット・AI技術等



(2) 視点

① 県民目線・現場目線

県職員自ら県民や企業と積極的に対話し、県民や現場の声を聴いた上で大学等の研究機関との連携（技術オリエンテッドではなく、課題オリエンテッドで）

② ともいき（ともに生きる社会かながわ憲章）

誰もが支え合い、受け入れ合う持続可能な共生社会(ともいき社会)の実現に繋げるという視点を持つ

③ 長期と短期

地域課題の解決等、短期に社会実装を目指す技術と、長期的・将来的な視点で必要な技術の両方を支援

④ その他

上記の他、科学技術イノベーションの推進に向け、人口知能（AI）やビッグデータ分析などのデジタル技術を活用するとともに、人材のリスクリング等により、社会課題に向き合う企業（三方よし）との連携を推進

(3) 関係機関との連携（大学等）

現状と課題

- ◇ 県内約100の大学等は、大学発ベンチャーや大学関連VCの後押しも広がる
- ◇ 研究内容の社会・地域課題別での可視化が不十分
- ◇ 関係機関との連携が実証段階で停滞しやすい

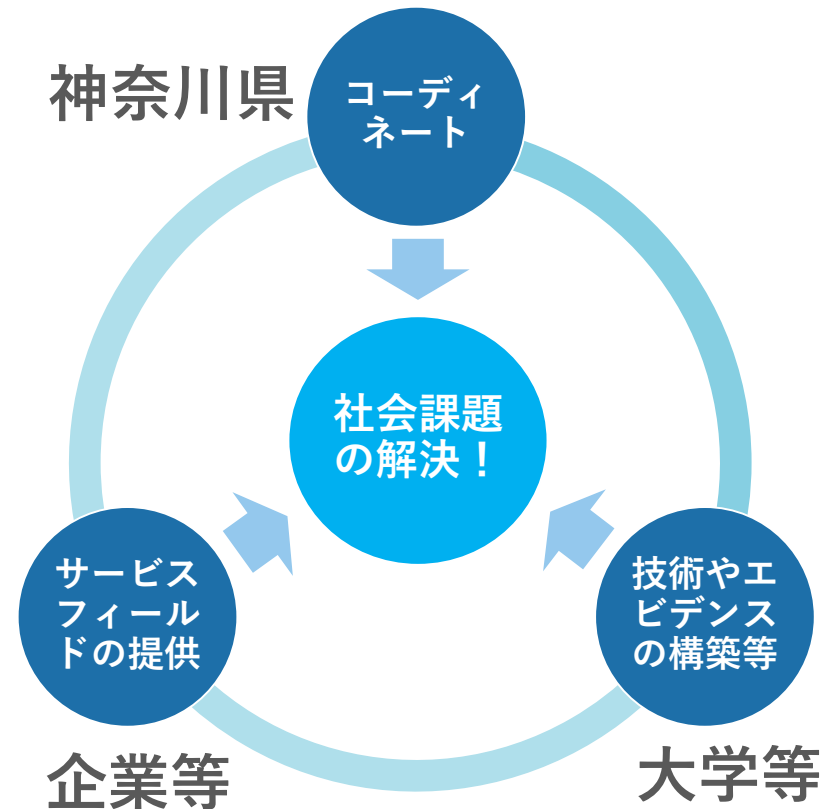
方向性

- ◇ 重点課題と社会実装を踏まえ、潜在ニーズまでの深掘り
- ◇ 大学等の知財・研究内容をAI等で把握し研究者の生の声を聞く
- ◇ CUP-K等と連携し関係機関等へのコーディネート



【参考】大学等とのコーディネート例

【地域課題：温暖化等により
30年間で海の森である藻場が半減】



- ① 県内ベンチャー企業の水中ドローン制御技術と県内大学のAI解析技術をベースに、江の島や城ヶ島の漁業団体やNPOと連携新たな藻場のモニタリング手法を実証し、ブルーカーボנקレジット申請を実施。
- ② 藻場の食害魚で流通価値の低いアイゴを活用したペットフードの製造の実証を、県内中小企業と県内大学の獣医学科との連携をコーディネートし実証。

(3) 関係機関との連携（県の試験研究機関（県試））

現状と課題

- ◇ 地域課題に直結し実証フィールドを持ち、研究・実証段階への展開が迅速
- ◇ 研究初期からの企業連携が少なく、広域的な社会実装に至るケースが少ない

方向性

- ◇ 重点課題と社会実装を踏まえた研究シーズや知的財産を支援
- ◇ 社会実装を見据えた企業等との連携をコーディネート



神奈川県衛生研究所

【参考】 県試験研究機関の研究成果の例（温泉地学研究所）

【地域課題：箱根火山の噴火による県民等の生命の危機】



2015/4/26箱根で群発地震発生、例年GW期間中は約80万人が訪れる箱根町。

5/2・3の噴気量の増大と過去の観測データから、5/4の協議会にて県や箱根町等の判断で、観光客の安全を最優先し、大涌谷自然散策路を閉鎖。

5/6気象庁が火口周辺を規制。県や町の迅速な判断により箱根火山噴火による死傷者ゼロ。

2004年以降、火山噴火活動の研究支援等を実施する等、平時から地道な研究の積重ねが県民等の生命の危機の回避に大きく貢献。



(3) 関係機関との連携（神奈川県産業技術総合研究所（KISTEC））

現状と課題

- ◇ 5つの事業柱「研究開発」「技術支援」「事業化支援」等で着実な成果
- ◇ 県の研究支援事業のコーディネートも実施
- ◇ 研究成果の社会認知が不十分

方向性

- ◇ 基礎研究、応用研究、実用化研究と切れ目ない取り組みによる、知的財産を創出
- ◇ 研究成果を企業等に結びつける技術支援、事業化支援の実施
- ◇ 支援先企業の増加による認知UP

KISTECの
プロジェクト
研究支援の
三段階
ステージ
ゲート方式



【参考】連携している関係機関の例（2025.10現在204機関）

大項目	中項目	小項目
テーマから	未病	日本健康経営専門医機構
		健康経営アライアンス
	医療	MEDIC 医療機器開発支援ネットワーク ポータル
		E-LIFEヘルスケアナビ
		MedTech Angels
		ヘルスケアイノベーション協会
		日本臨床工学技士会
		Knot Program
対象から	起業家	東農工大 西東京国際イノベーション共創拠点
		スタートアップ挑戦支援事業（中小機構）
		首都圏産業活性化協会
		1stRound（プログラム）
		Uvance Innovation Studio(富士通)
		広域スタートアップ支援ネットワーク(相模原)
	技術者	JAXA宇宙技術実証加速プログラム
		ものづくりシードスタートアップ育成プログラム
		フードテック官民協議会
		大田区産業振興協会
		宇宙関連企業交流拠点事業
	研究者	研究成果の事業化推進プログラム「BRAVE」
支援から	海外展開	HealthTech Gateway
		メドテックアクチュエーター
		Global Startup Acceleration Program
	知財 法務	かもめ特許事務所
		みなとみらい総合法律事務所
	人材	HiPro
		APOLLO
		Aurora ANRI EIR Project
		KSP DEEPTech STUDIO
		大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事業
		早暁プログラム(JST)

大項目	中項目	小項目
支援から	助成	クラシエ(研究者の挑戦を支援)
		池谷財団
		三菱UFJ技術育成財団
		成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業）
		御器谷科学技術財団
		野田産研研究助成(応用生命科学)
		産学共同ステージⅠ（育成フェーズ）
		長寿科学振興財団
		ロボット実装促進センター/ドローン開発支援事業
		国内展示会出展助成事業
		海外展示会出展に関する助成金
		横浜市次世代重点分野立地促進助成
		丸和育志会
		グラント（研究助成金）プログラム
		「2050年脱炭素社会の実現」プロジェクト
		神奈川県小規模事業者デジタル化支援推進事業費補助金
		横浜市トライアル助成金
	出資	横浜キャピタル株式会社
		ディーブコア
	融資	A-STEP 実装支援 返済型

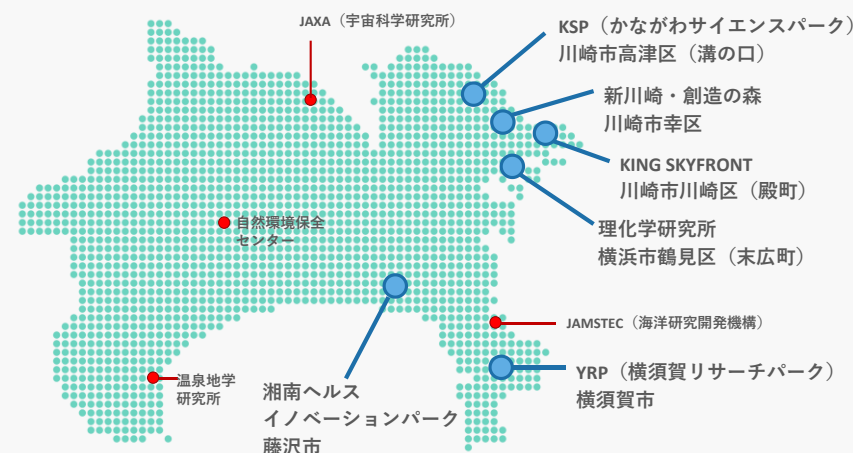
(4) 拠点の整備・連携

現状と課題

- ◇ サイエンスパークの他、国の最先端の研究機関や大学等が地域の拠点
- ◇ 村岡新駅や、相模原市橋本のリニア新駅等、新しい街づくりでの企業集積
- ◇ 拠点が連携していないと、設備等の共同利用等が困難、研究パートナーや契約・知財・規制の調整等にも時間がかかる

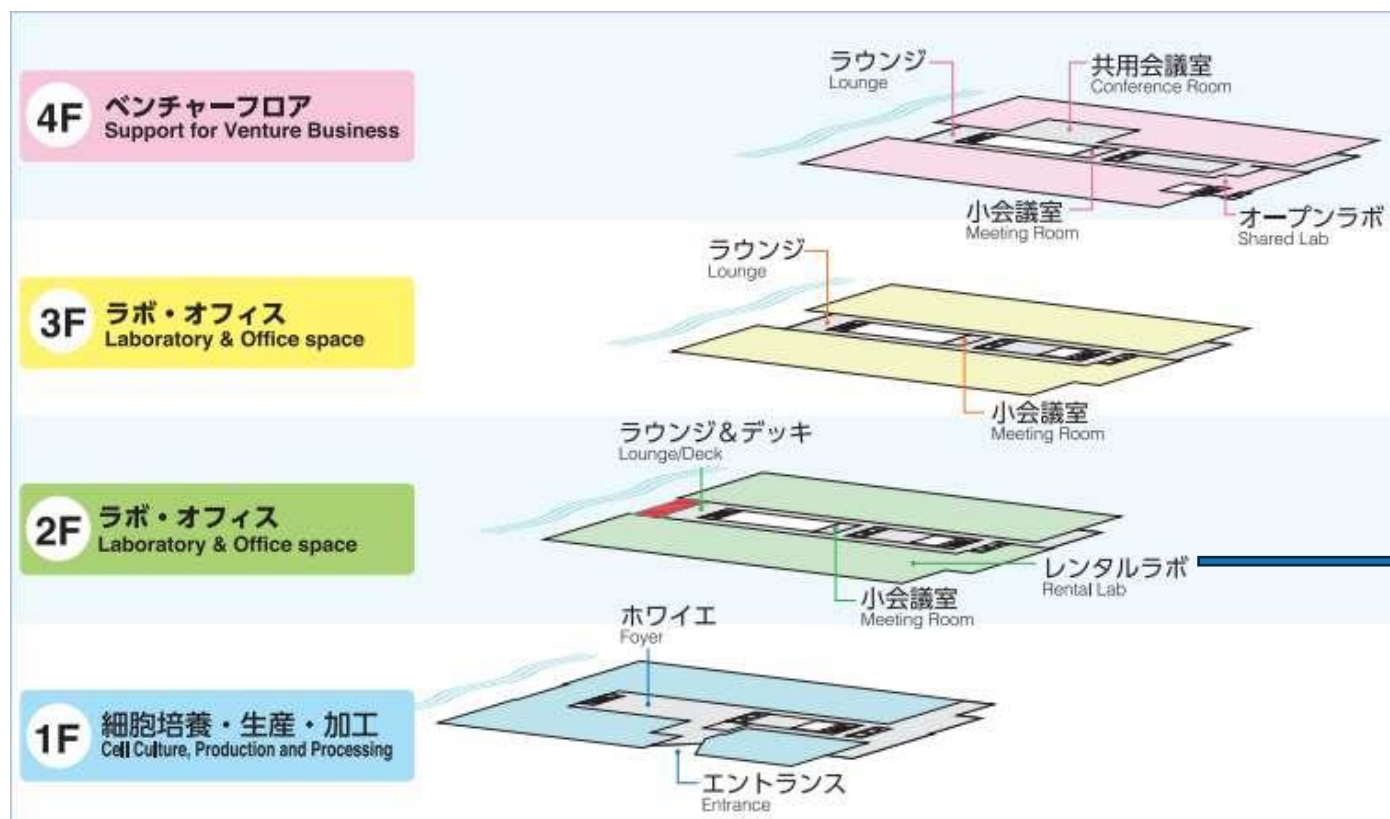
方向性

- ◇ 共同利用設備等の活用をコーディネート
- ◇ 拠点間連携の場の設定や、社会課題等に沿ったネットワーク強化



【参考】 共同利用設備の例

2016年に川崎市殿町に再生・細胞医療の産業化の拠点としてLIC
(ライフイノベーションセンター) を整備



(5) 知的財産戦略（検討の背景）

経緯

- ◇ H15年 知的財産基本法の施行
- ◇ H18年 県知財指針を策定
- ◇ H28年 議会で「抜本的な見直しが必要」と担当課長が答弁
- ◇ H30年 県知財指針を改定

内容

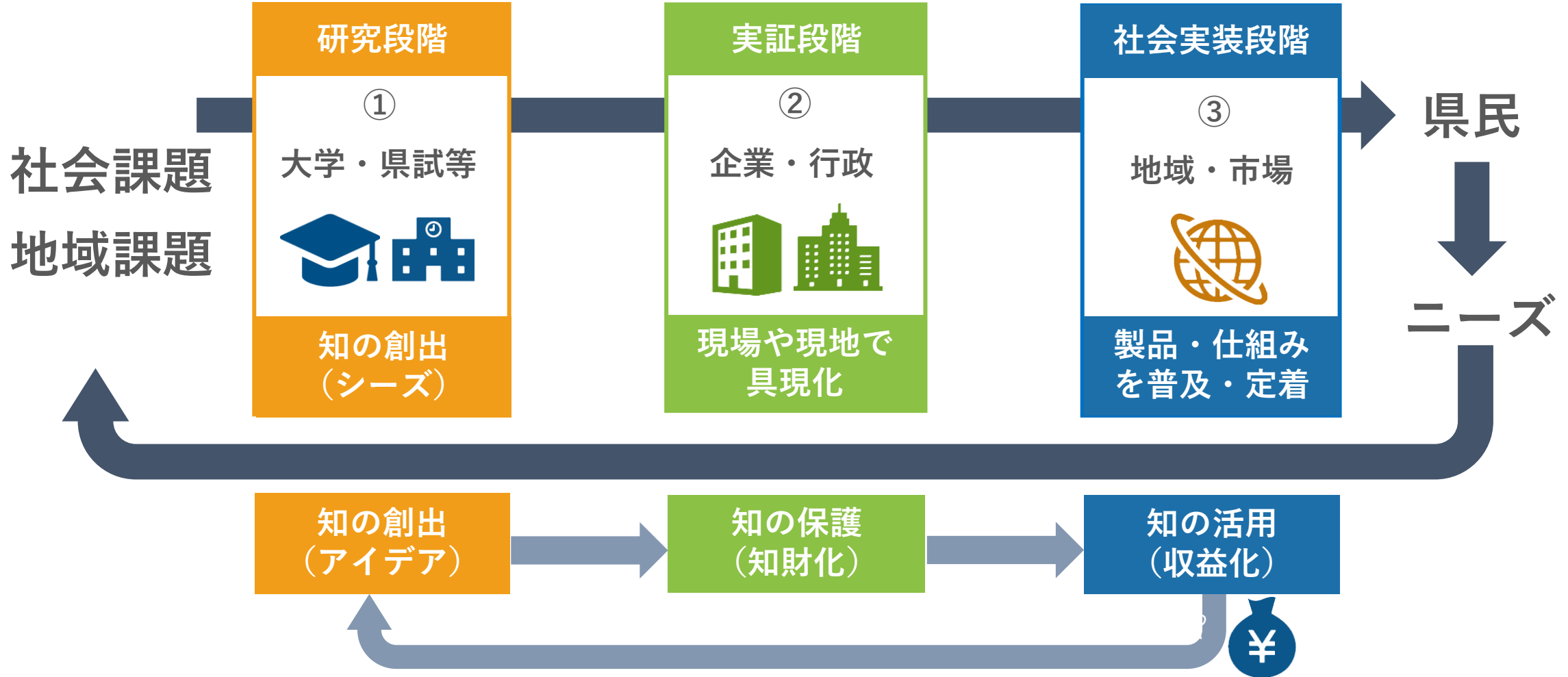
- ◇ H18年 研究力と企業ニーズを県が繋ぎ、知財を地域成長に繋げる総合指針
中小企業支援と産学公連携の強化を中心に施策を展開
- ◇ H30年 知財の一般的な考え方や簡易な県の施策を記載

最近の議会での議論

次期大綱については、知的財産活用の視点だけでなく、科学技術イノベーション・エコシステムの構築に必要なすべての要素を網羅し改定するよう要望する。
(R7 決特：自民市川（和）議員)

 知財戦略は、科学技術イノベーション・エコシステムの一要素として、大綱と一体化

(5) 知的財産戦略（イメージ）



【課題】 産業構造の急激な変化に対応できる、技術・知財を早期に社会実装に繋げる仕組みが必要

【目標】 知財の創出・保護・活用のサイクルを好循環させる仕組みの構築

(5) 知的財産戦略（目標・方向性）

目標

- ◇ 知財の創出・保護・活用のサイクルを好循環させる仕組みの構築

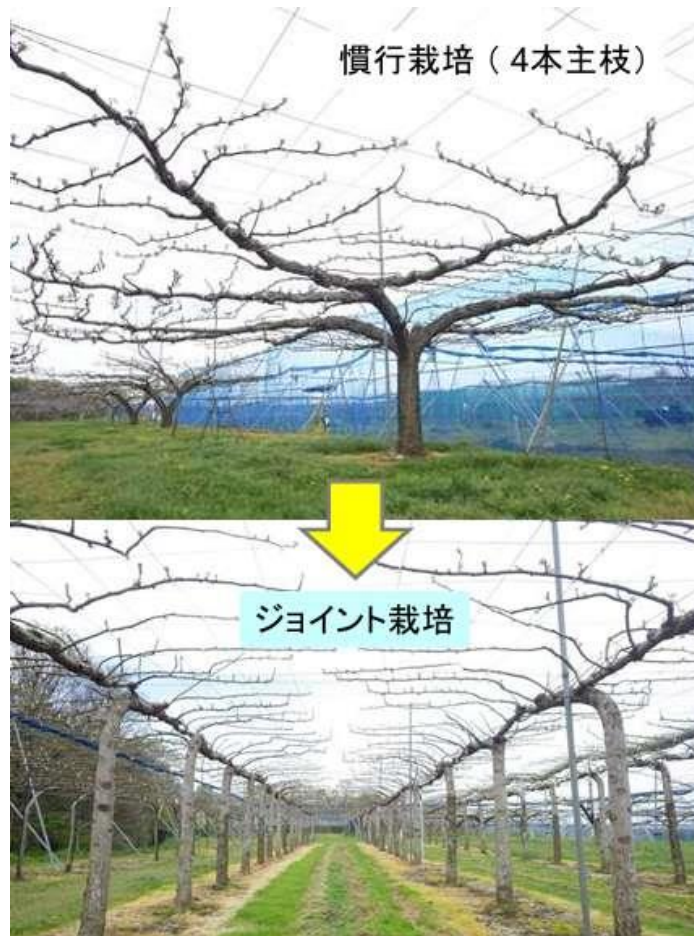
方向性

技術・知財の社会実装機会を最大化させ、生み出される知財・資金の好循環を促進

- ◇ 創出：課題を提示し、大学等が課題解決の技術開発
⇒ 社会課題とシーズのマッチング、研究支援
- ◇ 保護：企業・大学等による共同研究を促進し、事業を見据えた技術を権利化
⇒ 知財リテラシーの向上（INPIT等）、弁理士会とのマッチング
- ◇ 活用：大学等の技術移転の促進、企業による事業化
⇒ コーディネート人材によるマッチング支援、ネットワーク構築支援

【参考】 知的財産の活用例

【果樹のジョイント栽培】



- ◇ 重労働だった果樹栽培の枝の剪定作業の効率化のため、県の農業技術センターは、生育初期に他の木の枝と先端を繋げ、大きく育っても剪定が楽になるジョイント栽培という技術の特許化。
- ◇ ジョイント栽培は、ナシやリンゴ等の日本中の果樹栽培に広まり剪定作業が省力化に貢献。
- ◇ 2024年度まで累計で約4千3百万円の特許収入



(6) 実証段階での評価

現状と課題

- ◇ 県内には様々な実証フィールドがあり、県試も地域フィールドで実証
- ◇ 実証段階や社会実装段階での業務負荷やリスク、費用等の現場目線での整理が不十分
- ◇ 法令や基準等への適合性の確認が不十分

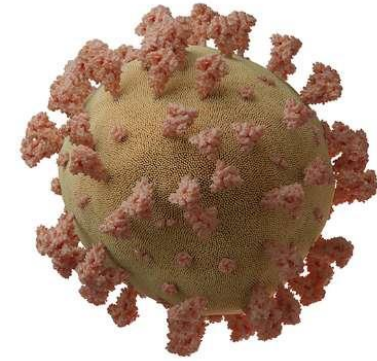
方向性

- ◇ 実証段階で現場目線での課題整理、法令や基準等の適合性等の評価で、社会実装に向けコーディネート



【参考】現場目線でコーディネートした成果

～新型コロナウイルス抗原検査キットが
薬局で販売されるまでの物語～



©YCU-CDC, amana/Hydrroid



県は、2014年のデング熱以降、理化学研究所と迅速な遺伝子検査法や、横浜市大と抗原検査法の研究を支援。

2020年2月の新型コロナ発生後、遺伝子検査（スマートアンプ法）用の試薬や機器を理研ベンチャーの県内企業が開発・発表。

2020.12 高齢者福祉施設での実証試験では、PCRのような遺伝子検査より、現場では抗原検査キットニーズが高かった。

2021.8 寄付された約12億円分の抗原検査キットで家庭でのセルフチェックの実証事業を実施後、ワクチン対象外の子どものいる87万世帯に抗原検査キットの配布事業を実施。

2021.9 国は、医療機関でしか使用できなかった抗原検査キットの薬局での販売を承認。



(7) 国際展開

現状と課題

- ◇ アジア・北米・欧州等の機関と連携、県内企業の海外販路拡大等を支援
- ◇ KIPは、中小企業等の海外進出等のビジネス展開を支援
- ◇ 国ごとに規制等が異なり県内企業の海外進出への段階的なサポートが必要

方向性

- ◇ WPROと連携し、ヘルスケア未病産業の海外展開を促進
- ◇ ベトナムへの県内企業の進出の総合的なサポート



【参考】国際展開の成果

ロボット スーツHAL



2015年 県内30ヶ所の高齢者福祉施設でロボットスーツの活用を実証

2017年 自立歩行困難な子どもたちの歩行機能改善

2019～2022年 介護予防プログラムの開発と高齢者の歩行機能改善

2022年 川崎市殿町に複合医療研究施設を開設

2022年 県や県内企業は、HAL導入済みのシンガポール総合病院を訪問

2024年 ベトナム保健省会合に当該企業を紹介

(国内外で2千台以上のHALを導入済み)

(8) 資金等の循環

現状と課題

- ◇ 各段階で国等の様々な支援メニュー
- ◇ 支援が社会実装につなげていないケースもある

方向性

- ◇ 重点課題と社会実装を踏まえる
- ◇ 様々な支援メニューの活用を
コーディネートし
資金・技術・人材が集積・循環する
核となるイノベーションを創出



【参考】 企業版ふるさと納税を活用した研究開発の支援の例



【地域で共同利用できる世界最高水準の高磁場NMR装置の研究開発】

NMR装置は、強力な電磁波を使い、原子や分子の構造を調べる装置で、たんぱく質の構造を解析し認知症の創薬開発、電池等の材料開発等、幅広い分野での活用が期待されます。

県では、令和5～7年度で合計9億円の企業版ふるさと納税を受入れ、理化学研究所横浜事業所に世界最高水準のNMR装置を研究開発し、地域で共同利用します。

創薬や材料分野で核となるイノベーション創出を期待しています。

【参考】 県の主な科学技術イノベーション・エコシステムの関連予算

	R6の現状
いのち未来 戦略本部室 予算	・ 神奈川県まち・ひと・しごと創生基金科学技術政策大綱推進事業費 (企業版ふるさと納税) 2.6億円 (共通利用設備の研究開発支援・若手研究者支援等)
	・ 科学技術イノベーション共創拠点推進事業費 2.1億円 (食や脳梗塞、認知症に関する研究支援) (イノベーション社会実装本部として選定した37件の伴走支援) (ベンチャーの社会実装フィールドの支援に向けた交流会 等)
産業労働局 予算	・ 産業技術総合研究所 (KISTEC) 交付金 29.8億円 (県内企業支援・成長産業支援 等)
	・ 神奈川産業振興センター (KIP) 事業費補助等 23.7億円 (中小企業支援 等)
	・ 成長期ベンチャー交流拠点、イノベーション人材交流拠点事業費等 2.9億円 (SINNみなとみらい、HATSU鎌倉、大企業連携支援 (BAK) 等)

【参考】ベンチャー支援の“かながわモデル”

かながわ発の起業家・ベンチャーの創出
「HATSU」～〇〇発がたくさん生まれる場所～

民間運営の
県内コワーキング
スペースと連携

- ・HATSU鎌倉(鎌倉)
- ・AGORA Hon-atsugi(厚木)
- ・ARUYO ODAWARA(小田原)

ベンチャーの成長促進
「SHIN」～新しい一歩を進める場所～

県運営の
ベンチャー企業
成長促進拠点

- ・SHINみなとみらい(横浜)



起業前

起業

育成

成長

ベンチャー支援ネットワーク強化

スタートアップビザの活用

資金調達サポート(クラウドファンディングの支援は継続実施)

次世代起業家創出事業
(学生等への普及啓発)

起業人材
育成スクール

HATSU
起業家支援
プログラム

かながわ・スタートアップ・
アクセラレーション・プログラム

行政連携促進

ビジネスアクセラレーター
かながわ(大企業連携)

支援情報発信の一元化

【参考】主な支援メニュー

	名称	概要	対象	①	②	③
国等	SBIR	府省横断でR&D～実装を段階支援（多段階選抜・PM伴走・調達連動）	中小企業（15年以内）／大学発VB	○	○	○
	Go-Tech	中小×大学・公設試の共同R&D～事業化を最長3年支援	中小企業／大学・公設試	○	○	×
	ものづくり補助金	新製品・新サービス開発／設備投資の実装費用を補助	中小企業	×	○	○
	IT導入補助金	既存業務のDX・省力化のIT導入費を補助	中小企業／小規模	×	○	○
	JSPS 科研費 KAKENHI	学術研究（基礎～応用）への競争的研究費	大学／公設研等	○	×	×
	JST START	大学シーズの事業化準備（PoC・起業・経営人材）	大学／大学発VB	○	○	×
	COI-NEXT（共創の場形成）	大学等を核に産学官金が社会実装志向で共創	大学／企業／自治体	○	○	△
	NEDO 大型R&D公募	エネルギー・製造・半導体等の実用化志向R&D	企業／大学／研究機関	○	○	△
	AMED（非臨床～治験）	医療機器・医薬の実用化志向研究（規制接続）	企業／大学／医療機関	○	○	△
	日本政策金融公庫融資	創業・新事業・設備など長期融資	中小企業／創業	×	○	○
	商工中金 伴走型融資	成長・再編等に合わせた中堅・中小向け融資	中小・中堅企業	×	○	○

県等	中小企業制度融資	県×金融機関×保証協会の低利・長期融資（運転・設備）	中小企業／創業	×	○	○
	小規模企業者等設備貸与（KIP）	県機関が設備を購入し割賦・リースで貸与	中小企業／創業	×	○	○
	生産性向上促進／小規模デジタル化補助	省力化・設備更新／IT導入を補助（年度事業）	中小企業／小規模	×	○	○
	事業承継補助金（県）	承継時の専門費用（株価算定・DD等）を補助	中小企業	×	○	○
	さがみロボット導入補助	生活支援ロボ等の導入費を補助（特区）	県内法人等	×	○	○
	KSAP（技術系スタートアップ実証支援）	実証経費を支援（上限100万円等）	スタートアップ	×	○	×
	BAK（アクセラレーター）	大企業連携の実証・資金調達伴走	スタートアップ	×	○	△
	セレクト神奈川NEXT	立地・再投資の大型資金を長期・低利で	中堅・中小	×	×	○
	KSPファンド	県内強みのディープテックへ投資（アーリー中心）	スタートアップ／大学発VB	×	○	○
	横浜キャピタル	地域VC。創業～成長期の出資	スタートアップ／中小	×	○	○
民間	Hamagin-DG Innovation Fund（CVC）	地銀×CVCの成長投資	スタートアップ	×	○	○
	ベンチャーデット（UPSIDER等）	売上連動等で希薄化を抑えた成長資金	スタートアップ／成長期中小	×	○	○

【参考】 国内のVC・CVC

鎌倉投信（株）	東北大学ベンチャーパートナーズ（株）
横浜キャピタル（株）	MTG Ventures
フューチャーベンチャーキャピタル（株）	JR東日本スタートアップ（株）
（株）Zebras & Company	ダイキン工業（株）
SFCフォーラム	キャナルベンチャーズ（株）
ライフタイムベンチャーズ	ミナミインキュベート（株）
（株）インディージャパン／XVC	（株）Ryobi AIgoTech Capital
（株）CAMPFIRE Startups	（株）リバネスキャピタル
（株）TNPパートナーズ	（株）ツクイキャピタル
セゾンベンチャーズ	日揮（株）
マルイ（D2C）CVC	INCUBATEFUND
Wventures	（株）ケイエスピー
FIRST CVC	（株）インディージャパン／XVC
モバイル・インターネットキャピタル（株）	ニッセイ・キャピタル（株）
清水建設（株）	リグロース・キャピタル・マネジメント（株）
Coralcapital	クオンタムリープベンチャーズ（株）
（株）慶應イノベーション・イニシアティブ	エレコム（株）
アグリビジネス投資育成（株）	UntroD Capital（旧リアルテックホールディングス）
トヨタ紡織（株）	凸版印刷（株）
（株）ファストトラックイニシアティブ	デジタルガレージ（株）

(9) 県自らのコーディネート

現状と課題 (ア) 県職員自らのコーディネート

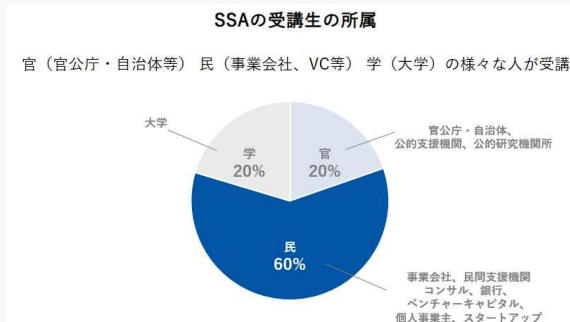
- ◇ 政策的な課題感、市町村等の関係機関との連携ノウハウを持つのが強み。
- ◇ 外部人材等と連携し、社会実装指標TRL等のレベルを把握しコーディネート

現状と課題 (イ) 外部人材等によるコーディネート

- ◇ 総合コンサルタント会社や医療/ライフサイエンス系会社、知財戦略・IPファイナンス等の専門会社が、総合的なコンサル
- ◇ こうした企業へのコンサルは相当な費用が必要。

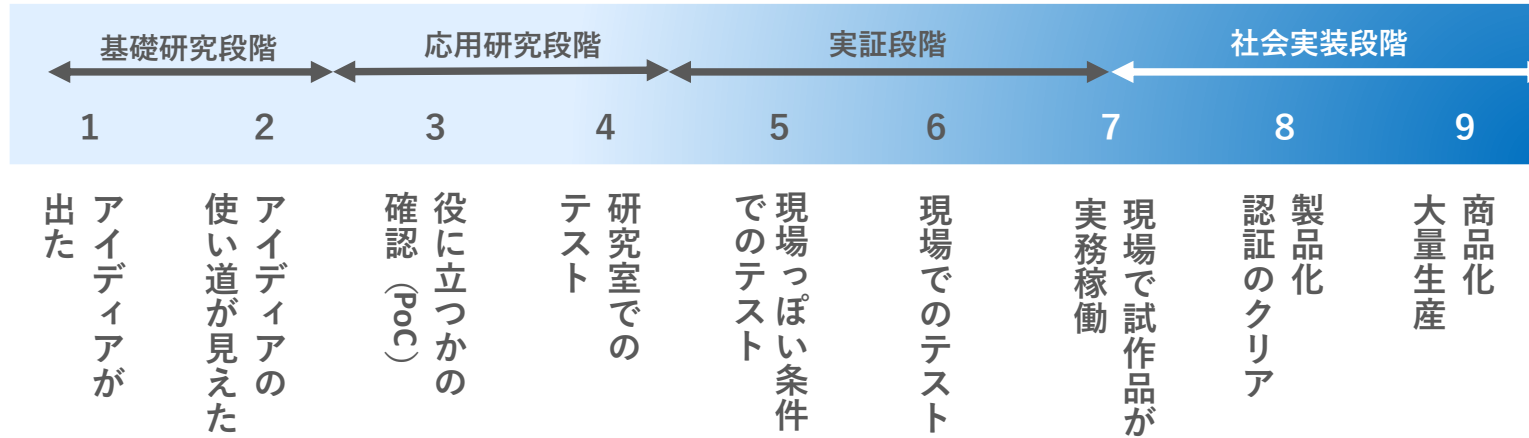
方向性

- ◇ 実証・社会実装段階でのOJTやNEDO研修(SSA)で人材育成
- ◇ 県がノウハウを持つフリーの外部人材と連携しコーディネートする仕組み



【参考】社会実装指標

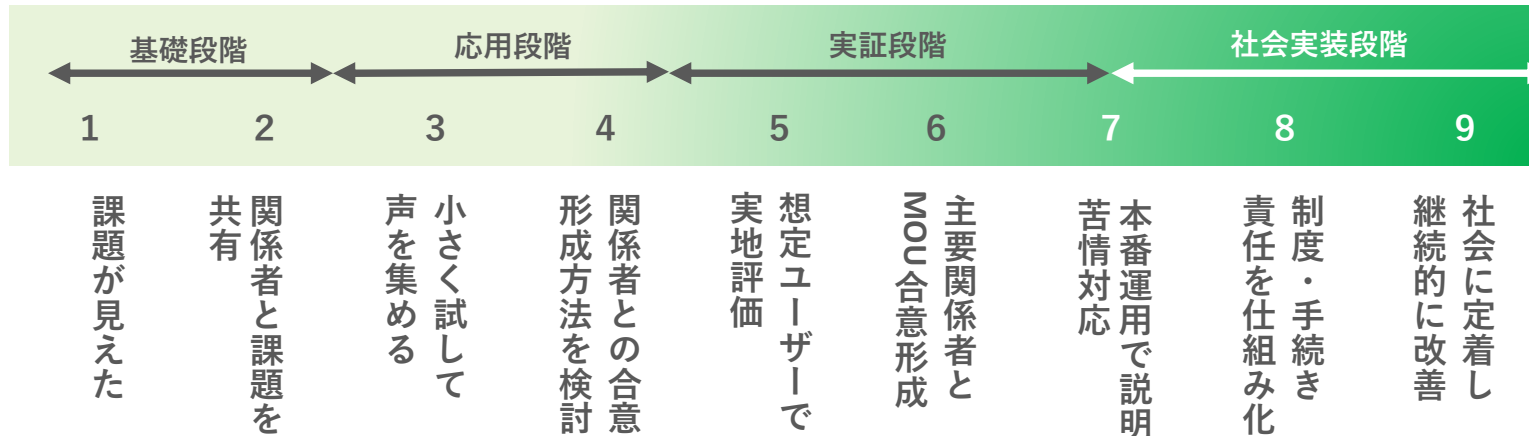
TRL (Technology Readiness Level : 技術成熟度)



中国やアメリカでは、AIやドローン・自動運転等の分野で、市場投入と改良を同時並行させる、訴訟リスクも織り込んだビジネスモデル。（例：チャットGPTの3.5は誤回答も多かったが、市場に投入しながら4.0→5.0とレベルを上げていった）

日本は、事故が起きると「制度的な課題」より「担当者が許可したこと」が責めらる。また、縦割りで責任を押し付けあい、誰もGoを言わない。

SRL (Sociatal Readiness Level : 社会受容成熟度)



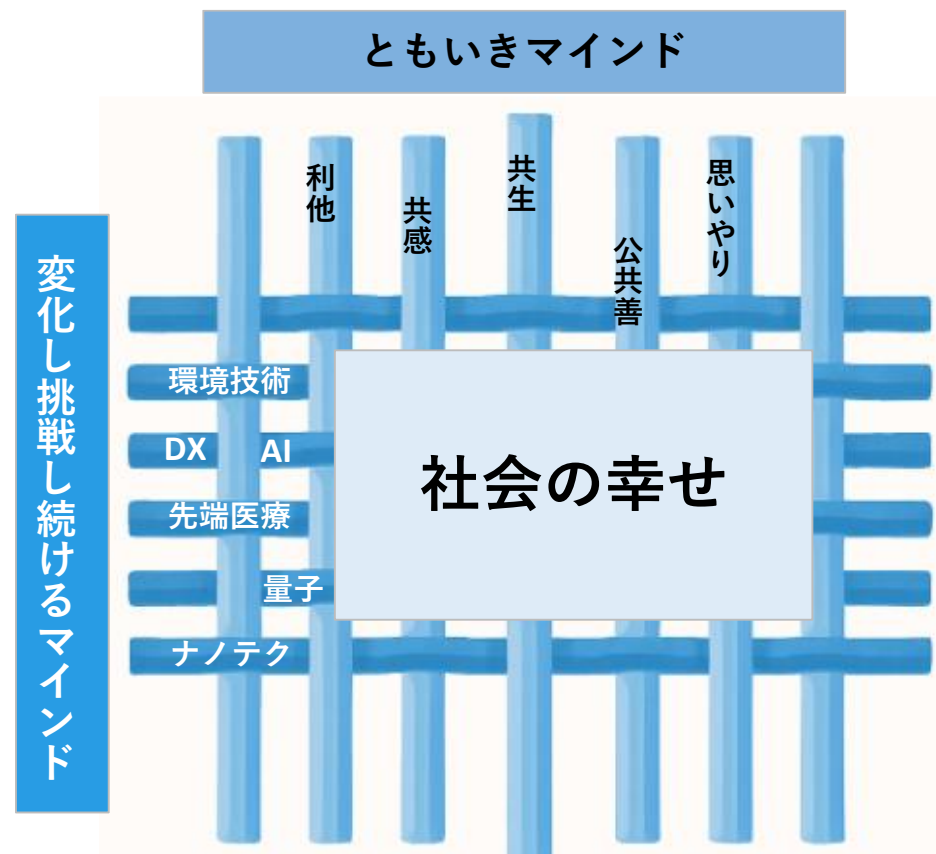
まずは、リスクを低（業務効率AI、空域限定の配送ドローン、サービスロボット）、中（自動運転、医療周辺AI、インフラ保守ドローン）、高（再生医療技術、食の根幹、電池・大型ロボット）の三段階に分け、サンドボックス制度の活用から限定での本格実装、また、責任を補償の設計を行い、安全に早く技術を実用化する必要がある。

2 節 イノベーション人材育成の仕組みづくり

イノベーション人材

イノベーション人材とは

『ともいき』マインドを軸に、
『変化し挑戦し続ける』マインドにより
他者や社会の幸せという
『新たな社会的価値を創造する』人材



イノベーション人材は、新たな社会的価値を創造するため、変化し挑戦し続ける人材ですが、変化は、社会へマイナス面もあるため、倫理的・法的・社会的課題を、自分自身の心の羅針盤として持つ必要があります。

県では、誰もが支え合い、受け入れ合う持続可能な共生社会(ともいき)の実現を目指し、共生や利他といった「ともいき」マインドを心の羅針盤としています。

『変化し挑戦し続ける』マインドを横糸とするなら、『ともいき』マインドは縦糸であり、しっかりとした縦糸の軸が通っていれば、挑戦の方向性は、常に「他者や社会の幸せ」という価値を紡いてくれると考えています。

変化し挑戦し続けるマインドの醸成

各世代の現状

- (ア) 小学生：県内科学館等と連携し体験機会「サイエンスかながわ」を実施
- (イ) 中・高校生：県内大学等と連携し特別体験機会「サイエンスキャリアプログラム」を実施
- (ウ) 大学生等：社会課題の解決に向け長期インターンや若手研究者を支援
- (エ) 社会人：人材育成の場を提供するパートナーとして連携
- (オ) 企業OB等：次世代に知と経験を繋ぐ・挑戦を支える伴走者として連携

方向性

- ◇ あらゆる体験のプラットフォーム化
- ◇ 興味の足跡から特別体験につなぐ仕組みづくり
- ◇ 大学の最先端技術に中高生が触れる仕組みづくり
- ◇ 次世代理系人材の確保に向けた、中・高校生の育成支援（KISTEC）

【参考】サイエンスかながわ

いこーよ お出かけ情報量
日本最大級!!
スポット 100,416件

スポット名・イベント名で検索

スポット | イベント | オンラインイベント | ランキング | 年輪観おでかけ | おでかけニュース | 子育て | 特集

北海道・東北 | 北海道 | 関東 | 東京 | 神奈川 | 千葉 | 埼玉 | 東海 | 愛知 | 北陸・甲信越 | 関西 | 大阪 | 京都 | 兵庫 | 中国・四国 | 九州・沖縄 | 福岡

おでかけ情報TOP > サイエンスかながわ

神奈川県などのサイエンスイベント

PR

サイエンスかながわ

神奈川県などのサイエンスイベント (21件)

イベントを絞り込む

開催日を選択

開始日 2025年10月9日

終了日 2026年1月9日 □ 土日に絞る

エリア

エリアを選択

ジャンル

ジャンルを選択

対象年齢

対象年齢を選択

料金

☐ 完全無料

検索する

ピックアップイベント

【横浜】ものづくり×サイエンス～コリントゲームづくりに挑戦～

◎ 神奈川県横浜市神奈川区 / 科学実験・ものづくり・工作体験

ゲームづくりを通して、試行錯誤の連続を体験する!

学術講演会 (総合研究大学院大学 統合進化科学研究センター)

来場者数の経緯

R4：26万人、R5：34万人、R6：50万人

R6からの広報いこーよとの連携

R5：1.2万ビュー、R6：12万ビュー

NFTを活用した興味の深化の実証

R7 LINEを活用 18機関1,700名

ともいきマインドの醸成

現状と課題

- ◇ 学校や地域での体験学習、企業・大学・地域団体の協働プロジェクトなど、多様な取組が展開
- ◇ 各取組が点在した経験のまま可視化・蓄積されにくい
- ◇ 活動履歴や貢献が、進学・就職・人事評価等に公正に評価・反映されない

方向性

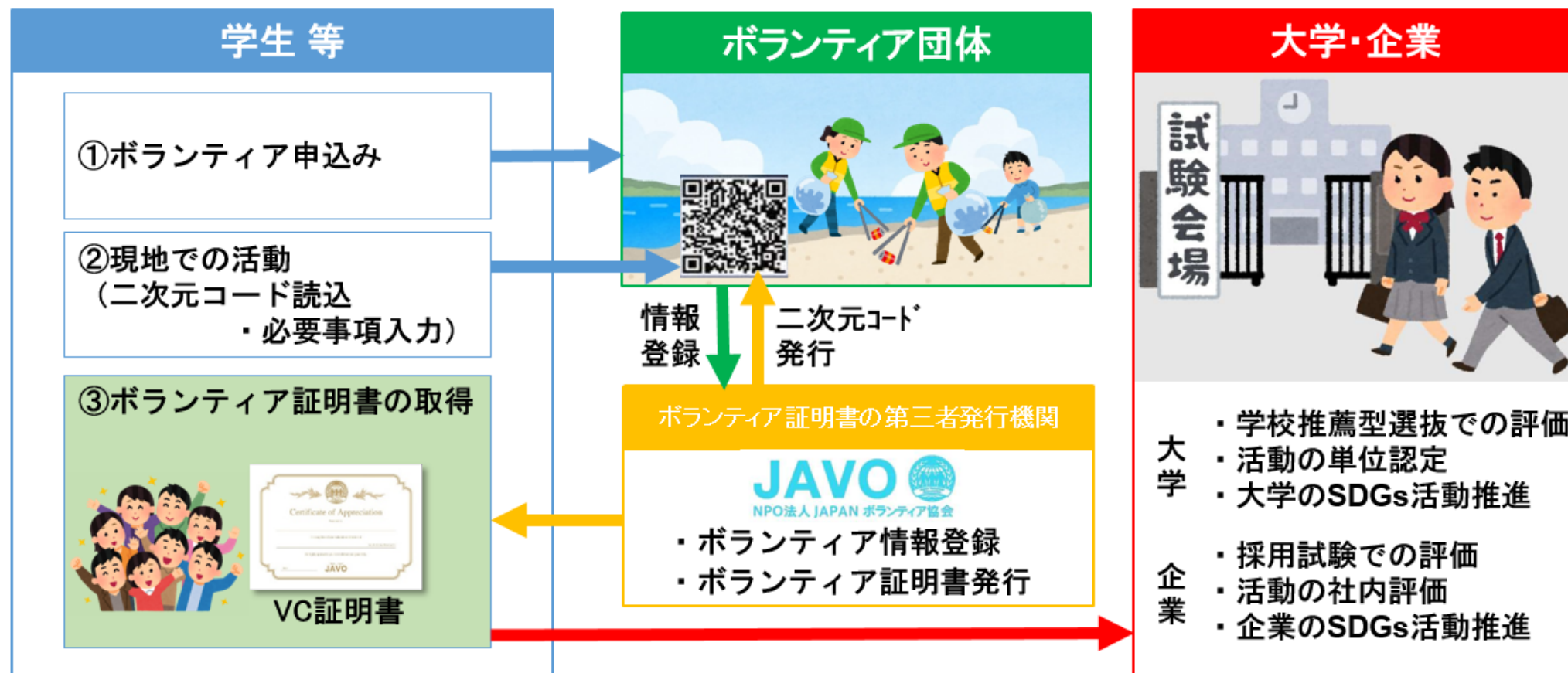
- ◇ 様々な活動を関係者とともに拡充
- ◇ ボランティア等の経験を可視化
- ◇ ごちゃまぜで共に学び挑戦する仕組みづくり

米国のボランティア活動評価（大統領表彰）

年齢	ブロンズ	シルバー	ゴールド
5～10才	26～49h	50～74h	75h以上
11～15才	50～74h	75～99h	100h以上
16～25才	100～174h	175～249h	250h以上
26才以上	100～249h	250～499h	500h以上

年間の活動時間

【参考】 ボランティア活動の可視化



参考

第8期 科学技術イノベーション政策大綱 スケジュール 案

年度	R7							R8												R9		
月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
国計画				★ 計画の 方向性				★ 計画 意見募集		★ 計画 閣議決定												
県議会							★ 質疑		★ 質疑				★ 骨子案報告	★		★ 素案報告	★	★ 議案提出 ・大綱議決	★			
常任 委員会	★ 質疑			★ 質疑			★ 質疑			★ 策定視点 スケジュール			★ 骨子案			★ 素案 県民意見			★ 大綱変更 の概要			
科学技 術会議							★ 改定に向けた 意見聴取							★ 素案 意見聴取								
県民 意見等														★ 素案 意見募集	★							
政策 会議等						★ G・VG 報告			★ G・VG 報告		★ G・VG 報告				★ G・VG 報告	★ 素案報告		★ 案報告				



科学技術政策の成果
視点、骨子案の作成